

山行NO NO. 1770
日時 2017. 12. 27 (水) ~ 30日 (土)
山域 甲斐駒・駒津峰 (2752m)
コース 27日=長泉—竹宇・駒ヶ岳神社駐車場 (テン泊)
28日=駐車場—戸台~北沢峠 (こもれび荘泊)
29日=北沢峠~仙水峠~駒津峰~北沢峠 (小屋泊)
30日=北沢峠~戸台—伊奈駅—長坂駅—駒神社—長泉
参加者 GT, KH, SO (ゲスト)、車回送MM

甲斐駒登山、50周年記念登山

1日目

27日 (水・晴) 長泉13:00—駒ヶ岳神社15:30 (テント泊)

私が初めて甲斐駒に上ったのは、1967年11月で20歳だった。

その時、角兵衛沢~鋸岳~甲斐駒~黒戸尾根をやった。

去年は、それから丁度「50年」

今回は、この記念すべき年の年末、甲斐駒に上る計画だった。

25日、小屋から電話があり、28日、戸台手前が道路工事で朝8:30から通行止めの連絡があった。

前回は、長泉を4:00に出て戸台発9:00だった。しかし、4:00以上早出は無理。結局、前日駒神社駐車場に泊まる計画に変更した。

また、戸台の車回送は会員のMに頼んだ。長泉13:00発。あさぎり道の駅でKHと合流し、駒神社に向かった。尾白の湯に入る案もあったが、寒く風邪が心配なので、食堂で食事のみ済ませた。本来、入浴なしで入館は有料だが、頼んで無料にして貰った。有難い。

夕食後、駐車場でテントを張って就寝。Mは寒かったようだ。夜中、ゲスト参加のSが来たが、分からなかった。



27日、しぐれる甲斐駒

2日目

12月28日（木・晴）起床4：10—中央道—伊那IC—戸台発7：32—旧丹溪山荘10：20—八丁坂—こもれび荘12：56（泊）

中央道を伊那ICに向かう。中央ALPSは、しぐれガスが掛かっていた。このところ冬型が強く山は荒れていた。戸台には、余裕を持って着いた。これも回送役のMのお蔭だった。

「登山指導所」で歓談。昨年は、戸台川の水量が多く参ったが、今年は、「大丈夫でははいでしょうか」だった。トイレを済ませ出発。左岸を行ってしまい少し苦労したが、取水口前で右岸に渡り、事なきを得た。登山者は、まだ早期なのでパラパラだった。

また、今年は雪が少なく、いつもイヤな丸木橋は、難なく渡れた。



出発



イヤな丸木橋

約3時間で河原は終わり、八丁坂上りに掛かる。雪は少ないが、すぐアイゼンは着けた。樹間から仰ぐ仙丈ヶ岳は、モーレツな雪煙を上げていた。

今回は、最大限の軽量化を図って来たので、上りは比較的楽だった。

上から見覚えのある男性が降りて来た。「こもれび荘」管理人だった。「ああ、ゴトーさん」と覚えていてくれ握手でエールを交した。八丁坂下まで荷揚げに行くようだ。

後はブラブラ上って早い時間に小屋着。まだ、時期が早いので小屋はガラガラ。お蔭で静かにユックリ出来た。ここには、先着し後で世話になる、京都のM君もいた。



こもれび荘



京都のM君とS



今回の日本酒

3日目

12月29日（金・午前晴、10時から超強風・ガス・しぐれ日）

小屋発6:30—仙水峠9:20—S待ち待機・下降・上り返し—駒津峰10:20—仙水峠—北沢峠12:56—こもれび荘（泊）13:12

天気予報は悪くなかった。でも夜半、森はゴォーと唸っていた。夜明けとともに小屋を出発。昨夜、小屋で交流した若い男子・やや年上の女性も一緒だった。

北沢下部でSが「暑い」といって着衣を脱いだ。着過ぎのようだ。トレースはあり問題なく仙水峠着。ただ、手前の「賽の河原」は、いつも歩き難い。男性が一人先行していた。昨夜小屋で一緒になった方で単独で、アサヨ峰に上るといっていた。



仙水峠から甲斐駒



仙丈ヶ岳

駒津峰に向かう。Sが来なかったので風が来ない場所で待った。待ったが来ないので、私が下って様子を見に行く。程なく上って来たが、既に疲れ切ったようだ。去年は、厳しい山に上っていない。その影響があっ

たと言っていた。「(小屋に) 戻るので行って下さい」だったので、再び上り出す。

森林限界でモーレツな風。朝方は静かだった山の風がドンドン強くなる。駒津峰に着いた。その少し前から怪しげな黒雲が西から見る見る内に甲斐駒を覆った。最悪だった。風だけなら登山は可能。しかし、それに霧が掛かると状況は変わる。更に風は半端でない。今年も駄目か。悪天候の山には上りたくない。潔く踵を返した。これで年末の山は昨年続きに2連敗。余りの強風で写真も撮れなかった。風に追われるように下山。若い二人も下山。



北沢峠

小屋に着いた。時間は早かったが、もう一泊する。ただ、食料が残っていたので素泊りとした。Sと合流。無事よかった。続々と山から下りてくる。仙丈もアサヨも全員上れなかったようだ。今日、宿泊予定だった七丈小屋には、管理人が連絡してくれた。連絡は衛星電話の様だが、代金は取らなかった。

夕方は、京都のM君・アサヨに行った千葉のIさん・翌日、仙丈に行く沼津のS夫妻（翌日、旦那さんのみ登頂）と交流した。



左・二人目がIさん



左の二人が沼津のS夫妻

3日目

12月30日（土・晴）小屋発6：30—ハ丁坂—戸台川7：43—日本山岳会・Sパーティーと会う8：26—戸台9：50—伊那市駅10：45—飯田線11：18—上諏訪駅12：39—中央線—長坂駅13：20—北杜タクシー（K運転手）—駒神社駐車場13：42—「おじろ」昼食（S帰京）—尾白の湯—長泉



日本山岳会P（左がS）

ユックリ下る。この年末で今日が一番良い天気の様だ。

早朝アタックで甲斐駒～黒戸の手はあったが、70歳になった私には、実行は相当の覚悟がいた。駄目な場合は、潔く下山。山を長くやる判断だろう。

順調に下って行くと、戸台川途中で会員の日本山岳会・Sパーティーに会った。男性3名、女子1名。テン泊だ。女子1名がドタキャンといった。翌日、全員登頂した。しかし、その日下山で戸台着がヘッドランプと報告にあった。戸台川をヘッドンでは辛いし、危険でもある。



戸台川下山



京都のM君



上諏訪駅・足湯

M君の車で伊那市駅に向かう。この駅が一番近そう。下界は快晴だったが、中央ALPSは雪煙が上がっていた。M君と駅で分かれた。ここまで送って貰い有難かった。また会いましょう。我が息子に似ていた。飯田線に乗る。この電車は数年前、塩見～仙丈以来だった。上諏訪駅で電車待ちの間、足湯に入る。やや温かったが気持ち良い。中央線は長坂駅で下車。呼んだ北杜タクシー（Kドライバー）で駒神社駐車場に向かう。5000ー程度だった。



「おじろ」のババさま



ツマミ

駐車場で土産物屋「おじろ」のババさまに入る。
昨年秋のハイク時、軽トラを出して貰い、世話になった礼をいう。
ビア・熱燗をいただいた。美味しかった。サービスのツマミが続々と出る。感謝感謝。
Sは車で飲めないのので先に帰った。尾白の湯に入る。気持ち良かった。
今回の山は残念だったが、「捲土重来」、またやろう。